



グループ3(前半)

### テーマ 市民ニーズや時代の変化に対応した市民への広報のあり方について

#### ～〈前半〉市民ニーズや時代の変化に対応した市民への広報のあり方についての課題～

**あなたは広報さっぽろを読んでいますか？**

よく読んでいる：4人  
たまに読んでいる：3人  
読んでいない：0人

**自分の生活に得たい情報が少ない**

毎回目を通すが、特に得たい情報がない→市営住宅の募集

「広報さっぽろ」に関しては、そろそろ来る頃だらうと思い毎月待っております。表紙～裏表紙(広告)まで全て読んでいます。  
私としては、知らないでも良いと思うものが多く記されているので、役に立つところは少ないと思います。(自分に直接関係ない、興味がない)  
「特集」役に立つ

**区民のページが情報が得やすいわかりやすい！**

区民のページはけっこう探していない情報でも有益なものが多い  
地域のイベント情報など情報が多すぎることがないのですっきりとして読みやすい

**広報の配布をお年寄の見守りにつなげる**

届けられているか？方法として他市は新聞にはさみこみ→札幌は町内会なので良いと思う

広報を配布する方→孤独死を防ぐことにつながるのではないか？

**知りたいこと**

→ **生活に密着した身近な情報！**

読まない理由→もっと身近なこと(例)→どこで事故があった→どんな事故→気をつける特に子ども等が居る家庭は役に立つのでは？

・区内の除雪について  
・健康の話

**無関心な層の手元には届いているか**

自治組織がないマンションや地域では配布されないでゴミになっている所もある  
管理者・オーナーにとっては面倒なこと→関わりたくないなる

入れ替わりのはげしい単身世帯などは、無関心なのでは？

無関心層が多くて何事にも耳を貸さない(広報誌に限るのもではないか？)

**切実なこと**

認知症について  
自分が今一番知りたい情報なので、毎月特集でとりあげてほしいです

**情報が多く知りたい情報を探しにくい左はしの見出しも目立たない**

高齢者には字が小さく読みにくい項目も多い

→ **すべての要望をみたすことはムリ、各自知りたい事は違う!!**

- ・字が小さい
- ・情報が多い
- ・身近な情報が少ない
- ・マンガの解説がわかりやすい

グループ3(後半)

### テーマ 市民ニーズや時代の変化に対応した市民への広報のあり方について

#### ～〈後半〉市民ニーズや時代の変化に対応した市民への広報のあり方についての提案～

**広報さっぽろを改善**

- **色**  
「広報さっぽろ」の色(ブルー)は暗く見づらいと高齢者からの声がありました。私も日々同じく思っておりましたので、パソコンで黒に一番合う色は何か、何色か試してみましたところ、①：オレンジ(薄い)、②：グリーン(薄い)が明るく黒文字が一番見やすいと思いました。試してみてはいかがでしょうか？(文字を囲んでカラー)今は囲んでいないので。
- **区民ページの充実**  
区民のページのボリュームを全体の半分くらいに増やす
- **見やすく**  
厚別区版のカレンダーが見やすい情報を探しやすい

**広報にも大きく載せる**

「何かあったらここに」という電話番号が必要

「何かあったらここに」という電話番号が1つあると良い  
コールセンターを無料化に

広報さっぽろの配布をお年寄りの見守りに活用できないか  
ボランティアを活用して配布できないか。

インターネットはやっている人にとっては便利(でも、できない人も多い)

インターネットの活用？  
→知りたい情報が知りたい人々に届く！しかし、ペーパーの方が記憶に残る。いつでもすぐに見る事可能

インターネットは広報さっぽろに比べ情報が探しやすい  
即时制は無い？  
モバイル版のQRコード  
→広報さっぽろ、ホームページ



